

## 平成27年度 病床機能報告結果（病院個票データ）

## 【賀茂医療圏】

○結果の概要	P 1
○病床の状況	P 7
○入院基本料・特定入院料ごとのレセプト件数(平成27年6月診療、7月審査分)	P 8
○医療機器の台数	P 13
○入院患者の状況	P 14
○手術の状況	P 15
○がん、脳卒中、心筋梗塞、分娩、精神医療への対応状況	P 18
○重症患者への対応状況	P 20
○救急医療の実施状況	P 21
○長期療養患者の受入状況	P 23
○用語の説明	P 24

## ○病床の状況

※平成27年7月1日現在

	一般病床		療養病床					
	許可病床	稼働病床	許可病床			稼働病床		
			うち医療療養病床	うち介護療養病床		うち医療療養病床	うち介護療養病床	
下田メディカルセンター	150床	100床						
公益社団法人地域医療振興協会 伊豆今井浜病院	60床	60床						
医療法人社団桑寿会 下田温泉病院			100床	40床	60床	100床	40床	60床
伊豆東部総合病院	160床	129床						
医療法人社団健育会 熱川温泉病院			199床	199床		199床	199床	
医療法人社団健育会 西伊豆病院	78床	78床						

○入院基本料・特定入院料ごとのレセプト件数(平成27年6月診療、7月審査分)

	一般病棟 7対1 入院基本料	一般病棟 10対1 入院基本料	一般病棟 13対1 入院基本料	一般病棟 15対1 入院基本料	一般病棟 特別入院 基本料	一般病棟 特定入院 基本料	一般病棟入 院基本料(療 養病棟入院 基本料1の例 により算定)	療養病棟 入院基本料 1	療養病棟 入院基本料 2	療養病棟 特別入院 基本料
下田メディカルセンター	146件									
公益社団法人地域医療振興協会 伊豆今井浜病院	145件									
医療法人社団桑寿会 下田温泉病院									33件	
伊豆東部総合病院			79件							
医療法人社団健育会 熱川温泉病院									155件	
医療法人社団健育会 西伊豆病院		105件								

(注)「\*」は10件未満のため非公表。空白はゼロ又は未確認。

○入院基本料・特定入院料ごとのレセプト件数(平成27年6月診療、7月審査分)

	救命救急 入院料1	救命救急 入院料2	救命救急 入院料3	救命救急 入院料4	特定集中 治療室 管理料1	特定集中 治療室 管理料2	特定集中 治療室 管理料3	特定集中 治療室 管理料4	ハイケアユ ニット入院 医療管理料 1	ハイケアユ ニット入院 医療管理料 2	脳卒中 ケアユニット 入院医療 管理料
下田メディカルセンター											
公益社団法人地域医療振興協会 伊豆今井浜病院											
医療法人社団桑寿会 下田温泉病院											
伊豆東部総合病院											
医療法人社団健育会 熱川温泉病院											
医療法人社団健育会 西伊豆病院											

(注) 「\*」は10件未満のため非公表。空白はゼロ又は未確認。

○入院基本料・特定入院料ごとのレセプト件数(平成27年6月診療、7月審査分)

	小児特定 集中治療室 管理料	新生児特定 集中治療室 管理料1	新生児特定 集中治療室 管理料2	総合周産期 特定集中治 療室管理料 (母体・胎 児)	総合周産期 特定集中治 療室管理料 (新生児)	新生児治療 回復室入院 医療管理料	小児入院 医療管理料 1	小児入院 医療管理料 2	小児入院 医療管理料 3	回復期リハ ビリテーショ ン病棟入院 料1	回復期リハ ビリテーショ ン病棟入院 料2	回復期リハ ビリテーショ ン病棟入院 料3
下田メディカルセンター											30件	
公益社団法人地域医療振興協会 伊豆今井浜病院												
医療法人社団桑寿会 下田温泉病院												
伊豆東部総合病院												
医療法人社団健育会 熱川温泉病院											52件	
医療法人社団健育会 西伊豆病院												

(注)「\*」は10件未満のため非公表。空白はゼロ又は未確認。

○入院基本料・特定入院料ごとのレセプト件数(平成27年6月診療、7月審査分)

	地域包括 ケア病棟 入院料1	地域包括 ケア病棟 入院料2	特殊疾患 病棟入院料 1	特殊疾患 病棟入院料 2	緩和ケア 病棟入院料	特定一般 病棟入院料 1	特定一般 病棟入院料 2	特定一般 病棟入院料 (地域包括 ケア入院医 療管理)	特定一般病 棟入院料 (療養病棟 入院基本料 1の例により 算定)	短期滞在 手術等 基本料2	短期滞在 手術等 基本料3
下田メディカルセンター											13件
公益社団法人地域医療振興協会 伊豆今井浜病院											*
医療法人社団桑寿会 下田温泉病院											
伊豆東部総合病院			50件								
医療法人社団健育会 熱川温泉病院									*		
医療法人社団健育会 西伊豆病院	84件										*

(注) 「\*」は10件未満のため非公表。空白はゼロ又は未確認。

○入院基本料・特定入院料ごとのレセプト件数(平成27年6月診療、7月審査分)

	特殊疾患 入院医療 管理料	小児入院 医療管理料 4	地域包括ケ ア入院医療 管理料1	地域包括ケ ア入院医療 管理料2
下田メディカルセンター				
公益社団法人地域医療振興協会 伊豆今井浜病院				
医療法人社団桑寿会 下田温泉病院				
伊豆東部総合病院				
医療法人社団健育会 熱川温泉病院				
医療法人社団健育会 西伊豆病院				

(注)「\*」は10件未満のため非公表。空白はゼロ又は未確認。

○医療機器の台数

※平成27年7月1日時点

	CT				MRI			その他						
	マルチスライス			その他	3T以上	1.5T以上 3T未満	1.5T未満	血管連続 撮影装置	SPECT	PET	PETCT	PETMRI	強度変調 放射線 治療器	遠隔操作式 密封小線源 治療装置
	64列以上	16列以上 64列未満	16列未満											
下田メディカルセンター	1台					1台		1台						
公益社団法人地域医療振興協会 伊豆今井浜病院		1台				1台								
医療法人社団桑寿会 下田温泉病院														
伊豆東部総合病院		1台												
医療法人社団健育会 熱川温泉病院		1台												
医療法人社団健育会 西伊豆病院		1台					1台							



○入院患者の状況(年間)

※平成26年7月～平成27年6月

	新規入棟患者数(年間)				在棟患者延べ数(年間)	退棟患者数(年間)
	うち予定入院の患者・院内の他病棟からの転棟患者	うち救急医療入院の予定外入院の患者	うち救急医療入院以外の予定外入院の患者			
下田メディカルセンター	1,647人	519人	322人	806人	25,722人	1,830人
公益社団法人地域医療振興協会 伊豆今井浜病院	1,260人	44人	451人	765人	16,643人	1,253人
医療法人社団桑寿会 下田温泉病院	62人	62人	0人	0人	35,340人	60人
伊豆東部総合病院	791人	393人	176人	222人	42,924人	800人
医療法人社団健育会 熱川温泉病院	379人	274人	30人	75人	69,283人	397人
医療法人社団健育会 西伊豆病院	1,801人	666人	110人	1,025人	27,376人	1,794人

○手術の状況(平成27年6月診療、7月審査分)

	手術総数	臓器別の状況											
		皮膚・皮下組織	筋骨格系・四肢・体幹	神経系・頭蓋	眼	耳鼻咽喉	顔面・口腔・頸部	胸部	心・脈管	腹部	尿路系・副腎	性器	歯科
下田メディカルセンター	38件	*	11件		14件	*		*	*	12件		*	
公益社団法人地域医療振興協会 伊豆今井浜病院	49件		22件					*		24件		*	
医療法人社団桑寿会 下田温泉病院													
伊豆東部総合病院													
医療法人社団健育会 熱川温泉病院	*										*		
医療法人社団健育会 西伊豆病院	*		*							*			

(注) 「\*」は10件未満のため非公表。空白はゼロ又は未確認。

○手術の状況(平成27年6月診療、7月審査分)

	全身麻酔の手術件数												
	臓器別の状況												
	皮膚・皮下組織	筋骨格系・四肢・体幹	神経系・頭蓋	眼	耳鼻咽喉	顔面・口腔・頸部	胸部	心・脈管	腹部	尿路系・副腎	性器	歯科	
下田メディカルセンター	11件	*	*				*		*		*		
公益社団法人地域医療振興協会 伊豆今井浜病院	15件		*						*		*		
医療法人社団桑寿会 下田温泉病院													
伊豆東部総合病院													
医療法人社団健育会 熱川温泉病院													
医療法人社団健育会 西伊豆病院	*		*										

(注) 「\*」は10件未満のため非公表。空白はゼロ又は未確認。

○手術の状況(平成27年6月診療、7月審査分)

	胸腔鏡下 手術	腹腔鏡下 手術	内視鏡手術 用支援機器 加算
下田メディカルセンター			
公益社団法人地域医療振興協会 伊豆今井浜病院		*	
医療法人社団桑寿会 下田温泉病院			
伊豆東部総合病院			
医療法人社団健育会 熱川温泉病院			
医療法人社団健育会 西伊豆病院			

(注)「\*」は10件未満のため非公表。空白はゼロ又は未確認。

○がん、脳卒中、心筋梗塞、分娩、精神医療への対応状況(平成27年6月診療、7月審査分)

(がん)

	悪性腫瘍手術	病理組織標本作製	術中迅速病理組織標本作製	放射線治療	化学療法	がん患者指導管理料1及び2	抗悪性腫瘍剤局所持続注入	肝動脈塞栓を伴う抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入
下田メディカルセンター	*	11件			*		*	
公益社団法人地域医療振興協会 伊豆今井浜病院		12件			*		*	
医療法人社団桑寿会 下田温泉病院								
伊豆東部総合病院					*			
医療法人社団健育会 熱川温泉病院								
医療法人社団健育会 西伊豆病院		*			*			

(注)「\*」は10件未満のため非公表。空白はゼロ又は未確認。

○がん、脳卒中、心筋梗塞、分娩、精神医療への対応状況(平成27年6月診療、7月審査分)

	(脳卒中)		(心筋梗塞)	(分娩)	(精神医療)	
	超急性期 脳卒中加算	脳血管内 手術	経皮的 冠動脈 形成術	分娩件数 (正常分娩、 帝王切開を 含む、死産 を除く)	入院精神 療法(I)	精神科リエ ゾンチーム 加算
下田メディカルセンター						
公益社団法人地域医療振興協会 伊豆今井浜病院						
医療法人社団桑寿会 下田温泉病院						
伊豆東部総合病院						
医療法人社団健育会 熱川温泉病院						
医療法人社団健育会 西伊豆病院						

(注)「\*」は10件未満のため非公表。空白はゼロ又は未確認。

○重症患者への対応状況(平成27年6月診療、7月審査分)

	ハイリスク 分娩管理 加算	ハイリスク妊 産婦共同管 理料(Ⅱ)	救急搬送 診療料	観血的 肺動脈圧 測定	持続緩徐式 血液濾過	大動脈バルーンパン ピング法	経皮的 心肺補助法	補助人工心 臓・植込型 補助人工心 臓	頭蓋内圧持 続測定(3時 間を超えた 場合)	人工心肺	血漿交換 療法	吸着式 血液浄化法	血球成分 除去療法
下田メディカルセンター													
公益社団法人地域医療振興協会 伊豆今井浜病院													
医療法人社団桑寿会 下田温泉病院													
伊豆東部総合病院													
医療法人社団健育会 熱川温泉病院													
医療法人社団健育会 西伊豆病院													

(注) 「\*」は10件未満のため非公表。空白はゼロ又は未確認。

○救急医療の実施状況(平成27年6月診療、7月審査分)

※患者延べ数は平成26年7月～平成27年6月

	院内 トリアージ 実施料	夜間休日 救急搬送 医学管理料	精神科疾患 患者等受入 加算	救急医療 管理加算 1及び2	在宅患者 緊急入院 診療加算	救急搬送患 者地域連携 紹介加算	休日に受診 した患者延 べ数	うち診察後 直ちに入院 となった患 者延べ数	夜間・時間 外に受診し た患者延べ 数	うち診察後 直ちに入院 となった患 者延べ数
下田メディカルセンター				15件			1,370人	129人	1,552人	296人
公益社団法人地域医療振興協会 伊豆今井浜病院				29件			973人	149人	1,042人	196人
医療法人社団桑寿会 下田温泉病院										
伊豆東部総合病院				35件			420人	22人	689人	129人
医療法人社団健育会 熱川温泉病院							163人	*	74人	10人
医療法人社団健育会 西伊豆病院		*		*			1,597人	185人	1,975人	350人

(注)「\*」は10件未満のため非公表。空白はゼロ又は未確認。



○救急医療の実施状況(平成27年6月診療、7月審査分)

※救急車の受入件数は平成26年7月～平成27年6月

	救急車の 受入件数	救命のため の気管内挿 管	体表面ペー シング法又 は食道ペー シング法	非開胸的心 マッサージ	カウンター ショック	心膜穿刺	食道圧迫止 血チューブ 挿入法	地域連携 診療計画 管理料
下田メディカルセンター	1,193件	*						
公益社団法人地域医療振興協会 伊豆今井浜病院	730件							
医療法人社団桑寿会 下田温泉病院								
伊豆東部総合病院	333件							
医療法人社団健育会 熱川温泉病院	52件							
医療法人社団健育会 西伊豆病院	984件	*			*			

(注) 「\*」は10件未満のため非公表。空白はゼロ又は未確認。

○長期療養患者の受入状況

	療養病棟 入院基本料 1. 2(A~I)	褥瘡評価実 施加算(療 養病棟入院 基本料、有 床診療所療 養病床入院	重度 褥瘡処置	重症皮膚潰 瘍管理加算
下田メディカルセンター				
公益社団法人地域医療振興協会 伊豆今井浜病院			*	
医療法人社団桑寿会 下田温泉病院	33件			
伊豆東部総合病院			*	
医療法人社団健育会 熱川温泉病院	155件	63件		*
医療法人社団健育会 西伊豆病院				

(注)「\*」は10件未満のため非公表。空白はゼロ又は未確認。

## 用語の説明

### ○医療機器の台数

CT	CTは、X線(放射線)を使って、身体の断面を撮影する装置です。列の数が多いほど、同じ範囲をより短時間、より細かく撮影することができます。値は医療機関が保有する台数です。
MRI	MRIは、主に磁気を利用して、身体の断面を撮影する装置です。T(テスラ)は、磁気の強さを表す単位で、値が大きいくほど高画質の画像が得られます。値は医療機関が保有する台数です。
血管連続撮影装置	血管連続撮影装置は、X線では映らない、血管の状態を撮影するための装置です。値は医療機関が保有する台数です。
SPECT	SPECTは、特殊な薬剤を注射したあとに撮影することで、体のなかの血液の分布を調べる装置です。とくに、脳血管障害や心疾患の診断に用いられます。値は医療機関が保有する台数です。
PETCT	PETCTは、診断の精度を向上させるためにPETとCTを組み合わせた装置です。値は医療機関が保有する台数です。
PETMRI	PETMRIは、診断の精度を向上させるためにPETとMRIを組み合わせた装置です。値は医療機関が保有する台数です。
強度変調放射線治療器	強度変調放射線治療器は、腫瘍に正確に放射線を照射する装置です。値は医療機関が保有する台数です。
遠隔操作式密封小線源治療装置	遠隔操作式密封小線源治療装置は、体の内側から放射線を照射する機能を持つ装置です。値は医療機関が保有する台数です。

### ○手術の状況

胸腔鏡下手術	胸部を切り開くことはせず、胸部に開けた小さな穴から、胸部用の内視鏡などの器具を入れて行う手術で「きょうくきょうかしゅじゅつ」と読みます。値はこの手術を行った患者数(レセプト件数)です。
腹腔鏡下手術	腹部を切り開くことはせず、腹部に開けた小さな穴から、腹部用の内視鏡などの器具を入れて行う手術で「ふくくきょうかしゅじゅつ」と読みます。値はこの手術を行った患者数(レセプト件数)です。
内視鏡手術用支援機器加算	内視鏡手術ロボットを用いて前立腺がん手術を行った患者数(レセプト件数)です。

### ○がん、脳卒中、心筋梗塞、分娩、精神医療への対応状況

#### (がん)

悪性腫瘍手術	がんを取るための手術です。値は手術を行った患者数(レセプト件数)です。
病理組織標本作製	患者の身体から採取した細胞や組織等を観察し、病気の確定診断をすることを病理診断といいます。病気の早期発見や治療方針の選択、治療効果の判定等にも役立ちます。値は病理診断に必要な標本(細胞の組織片等)を作成した患者数(レセプト件数)です。
術中迅速病理組織標本作製	病気の良性・悪性の判断や切除範囲を決めるため、手術中に病理診断をすることを術中迅速診断といいます。そのための病理組織標本作製を、手術中に行った患者数(レセプト件数)です。
放射線治療	がん放射線を当てる(照射する)ことで、がんを縮小させる治療を放射線治療といいます。値は放射線治療を行った患者数(レセプト件数)です。
化学療法	化学療法は、抗がん剤によりがんを殺したり、小さくしたりする治療法です。値は化学療法を行った患者数(レセプト件数)です。(ここでいう抗がん剤とは、総務大臣が定める日本標準商品分類における「8742 腫瘍用薬」に指定されている医薬品のことを指します。)
がん患者指導管理料1及び2	がんの患者が、診断結果や治療方法を理解し、納得のいく治療方針を選択できるよう、専門的な研修を受けた医師や看護師が、文書での説明や相談、指導を行っていることを示す項目です。値は相談や指導を行った患者数(レセプト件数)です。
抗悪性腫瘍剤局所持続注入	がんの患者に対し、カテーテル(細い管状の医療器具)等を用いて動脈や静脈等に抗がん剤を持続的に注入する治療です。値はこの治療を行った患者数(レセプト件数)です。
肝動脈塞栓を伴う抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入	肝臓がんの患者に対し、カテーテル(細い管状の医療器具)を用いて肝動脈内に抗がん剤を投入する治療方法を 抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入といいます。同時に、動脈の血流を遮断する物質を注入することで、肝臓のがんを殺す治療です。値はこの治療を行った患者数(レセプト件数)です。

**(脳卒中)**

超急性期脳卒中加算	脳梗塞の患者に対し、発症後速やかに薬剤を投与して血栓を溶かす治療を行ったことを示す項目です。値はこの治療を行った患者数(レセプト件数)です。
脳血管内手術	脳血管内手術は、脳動脈瘤等の患者に対し、頭蓋骨を切り開く開頭手術をせず、カテーテル(細い管状の医療器具)を用いて脳の血管の内側から患部を治療する手術です。値はこの手術を行った患者数(レセプト件数)です。

**(心筋梗塞)**

経皮的冠動脈形成術	経皮的冠動脈形成術は、狭心症や心筋梗塞等の患者に対し、胸部を切り開く開胸手術をせず、カテーテル(細い管状の医療器具)を用いて心臓の冠動脈を血管の内側から治療する手術です。値はこの手術を行った患者数(レセプト件数)です。
-----------	---

**(分娩)**

分娩件数(正常分娩、帝王切開を含む、死産を除く)	分娩を行った件数です。
--------------------------	-------------

**(精神医療)**

入院精神療法(I)	入院精神療法は、精神疾患の患者に対し、治療計画に基づいて患者の精神面に対して施す治療です。値はこの治療を行った患者数(レセプト件数)です。
精神科リエゾンチーム加算	精神疾患の患者に対し、精神科医や専門の看護師等が共同し、多職種チームとして診療を行っていることを示す項目です。値はこうした診療を行った患者数(レセプト件数)です。

**○重症患者への対応状況**

ハイリスク分娩管理加算	母体や胎児が分娩時に危険な状態になるリスクが高い妊産婦に対し、帝王切開などの緊急処置を視野に入れた分娩管理を行っていることを示す項目です。値はこうした分娩管理を行った患者数(レセプト件数)です。
ハイリスク妊産婦共同管理料(II)	上記のような妊産婦について、他院と共同で診療を行っていることを示す項目です。値は、他院から患者の紹介を受け、紹介元の医師と共同して自院で分娩管理を行った患者数(レセプト件数)です。
救急搬送診療料	患者を救急車等で医療機関に搬送する際、診療上の必要性から、その救急車等に医師が同乗して診療を行ったことを示す項目です。値はこのような搬送中の診療を行った患者数(レセプト件数)です。
観血的肺動脈圧測定	観血的肺動脈圧測定は、急性心筋梗塞など心機能が低下した患者に対し、肺動脈内にカテーテル(細い管状の医療器具)を挿入して肺動脈の血圧を測定する検査です。値は検査を行った患者数(レセプト件数)です。
持続緩徐式血液濾過	持続緩徐式血液濾過は、急速に腎臓の機能が低下した急性腎不全等の患者に対し、持続的に(時間をかけて)血液から余分な水や毒素・老廃物を除去して体液調整を行う処置です。値は処置を行った患者数(レセプト件数)です。
大動脈バルーンパンピング法	大動脈バルーンパンピング法は、急性心筋梗塞等の患者に対し、バルーン(風船)のついたカテーテル(細い管状の医療器具)を心臓に近い大動脈に挿入し、心臓の動きに合わせてバルーンを拡張・収縮させることで心臓の冠動脈への血流を維持し、心臓の働きを助ける手術です。値は手術を行った患者数(レセプト件数)です。
経皮的心肺補助法	経皮的心肺補助法は、重篤な心不全等の患者に対し、人工心肺装置で血液循環を維持しながら、心肺機能の回復を図る手術であり、外科的に胸部を切り開くことはせず、カテーテル(細い管状の医療器具)を用いて行うものです。値は手術を行った患者数(レセプト件数)です。
補助人工心臓・植込型補助人工心臓	補助人工心臓は、重篤な心不全等の患者に対し、人工的に血液循環を行う装置を装着することで、弱った心臓を休ませ、その回復を図る手術です。値はこの手術を行った患者数(レセプト件数)です。
頭蓋内圧持続測定(3時間を超えた場合)	頭蓋内圧持続測定は、重症な頭部外傷やくも膜下出血等の患者に対し、特殊な測定機器を頭蓋骨内部に置くことで、脳周辺の圧力を持続的に測定する検査です。値は検査を行った患者数(レセプト件数)です。
人工心肺	人工心肺は、心臓手術などの際に、一時的に心臓と肺の機能を代行する装置です。値は人工心肺装置を使用した患者数(レセプト件数)です。
血漿交換療法	血漿交換療法は、劇症肝炎、肝不全、膠原病等の患者に対し、患者の血液から病気の原因となる物質が含まれる血漿を分離して廃棄し、新しい血漿を患者の血液に補充する治療法です。値は処置を行った患者数(レセプト件数)です。
吸着式血液浄化法	吸着式血液浄化法は、劇症肝炎や肝不全等の患者に対し、血液を吸着材に通すことで血液中に蓄積した老廃物や毒素等を除去する治療法です。値はこの処置を行った患者数(レセプト件数)です。
血球成分除去療法	血球成分除去療法は、潰瘍性大腸炎やクローン病等の自己免疫疾患の患者に対し、血液から自分の組織を攻撃する白血球を除去する治療法です。値はこの処置を行った患者数(レセプト件数)です。

### ○救急医療の実施状況

院内トリアージ実施料	夜間や休日、深夜に受診した救急患者に対し、その緊急度に応じて、診療の優先順位付け(院内トリアージ)を行っていることを示す項目です。値はトリアージを行った患者数(レセプト件数)です。
夜間休日救急搬送医学管理料	夜間や休日等の救急搬送に対応していることを示す項目です。値は、深夜、休日等に救急車や救急医療用ヘリコプター等で搬送され、診療を行った患者数(レセプト件数)です。
精神科疾患患者等受入加算	夜間や休日等に救急搬送される急性薬毒物中毒の患者に対応していることを示す項目です。値は、夜間や休日等に搬送された患者のうち、過去6月以内に精神科の受診歴がある患者や、急性薬毒物中毒(アルコール中毒は除く)と診断された患者数(レセプト件数)です。
救急医療管理加算1及び2	意識障害、昏睡等の重篤な状態の患者の緊急入院を受け入れていることを示す項目です。値は休日又は夜間に緊急入院し、救急医療を行った患者数(レセプト件数)です。
在宅患者緊急入院診療加算	在宅での療養中に病状が急変し、入院が必要となった場合に、患者の意向を踏まえた医療が引き続き提供されるよう、他の医療機関と連携する取組を行っていることを示す項目です。値は、他の医療機関の求めに応じて緊急入院を受け入れた患者数(レセプト件数)です。
救急搬送患者地域連携紹介加算	医療機関間の連携により、救急医療機関の負担を軽減し、緊急入院を円滑に受け入れるための取組を行っていることを示す項目です。値は、緊急入院で受け入れた患者を、連携先の医療機関に転院させた人数(レセプト件数)です。【関連:救急搬送患者地域連携受入加算】
休日に受診した患者延べ数	休日(日曜、祝日、年末年始)に受診した患者数と、そのうち診療後にただちに入院が必要となった患者数です。
夜間・時間外に受診した患者延べ数	夜間・時間外(医療機関が表示する診療時間以外の時間(休日を除く))に受診した患者数と、そのうち診療後にただちに入院が必要となった患者数です。
救急車の受入件数	救急車や救急医療用ヘリコプター等により搬送され受け入れた件数です。
救命のための気管内挿管	気管内挿管は、気道確保を行うためのチューブ等を口や鼻から挿入する処置です。値は救命措置として気管内挿管を行った患者数(レセプト件数)です。
体表面ペースティング法又は食道ペースティング法	体表面・食道ペースティングは、胸部または食道内に電極をおき、電極を介して心臓を電気刺激する処置です。値は処置を行った患者数(レセプト件数)です。
非開胸的心マッサージ	非開胸的心マッサージは、胸部を開く等の手術を伴わない、一般的な心臓マッサージを行う処置です。値は処置を行った患者数(レセプト件数)です。
カウンターショック	カウンターショックは、心停止した患者に対し、AEDや専門の医療機器等を用いて、心臓に電気ショックを与え、正常な状態に戻す処置です。値は処置を行った患者数(レセプト件数)です。
心膜穿刺	心膜穿刺は、心臓を覆う心膜に針等を刺し、心臓に貯まった水を排出する処置です。値は処置を行った患者数(レセプト件数)です。
食道圧迫止血チューブ挿入法	食道圧迫止血チューブ挿入法は、食道静脈瘤からの出血に対し圧迫止血の目的でチューブを挿入する処置です。値は処置を行った患者数(レセプト件数)です。
地域連携診療計画管理料	大腿骨頭部骨折や脳卒中の患者について、転院・退院後の治療を担う地域の医療機関や介護施設が治療計画を共有し、連携して診療・ケアに取り組んでいることを示す項目です。値は、診療計画のもと、他の医療機関や介護サービス事業所に転院・退院させた患者数(レセプト件数)です。【関連:地域連携診療計画退院時指導料(I)】

### ○長期療養患者の受入状況

療養病棟入院基本料1. 2(A~I)	療養病棟は、主として、長期にわたり療養を必要とする患者を入院させるための病棟です。値はこうした病棟に入院している患者数(レセプト件数)です。
褥瘡評価実施加算(療養病棟入院基本料、有床診療所療養病床入院基本料)	褥瘡(床ずれ)は、寝たきりなどにより、身体の一部が長時間にわたりベッドと接触することで血行が悪くなり、皮膚組織等が壊死する症状です。この項目は、褥瘡が特に生じやすい状態にある患者について、褥瘡の予防や処置の観点から必要な取組を行っていることを示します。値はそのような状態にある患者数(レセプト件数)です。
重度褥瘡処置	この項目は重度化した褥瘡に対してケアを行っていることを示しています。値はこのようなケアを行った患者数(レセプト件数)です。
重症皮膚潰瘍管理加算	皮膚潰瘍は、皮膚や粘膜が傷ついた際に、糖尿病等の疾患による血行不全等のために傷が治らず、組織が壊死する症状です。この項目は、重度な皮膚潰瘍に対して計画的、継続的なケアを行っていることを示します。値はケアを行った患者数(レセプト件数)です。